

スリーアール

# 3Rのスズメ。

第3号 夏  
2013



## 産業廃棄物の処理にも環境配慮が求められる時代に！

平成19年に環境配慮契約法が施行され、国や地方自治体で「入札の際に価格だけでなく環境負荷を含めて評価しよう」という考え方が広がってきています。そんな中、平成25年3月からは国の事業については「産業廃棄物の処理の委託契約」も環境配慮契約法の対象になりました。

### 環境配慮契約法とは??

環境配慮契約法は、国や独立行政法人等の公共機関が契約を結ぶ際に、価格に加えて環境性能を含めて総合的に評価し、もっとも優れた製品やサービス等を提供する者と契約する仕組みを作ることで、環境保全の技術や知恵が経済的にも報われる、新しい経済社会の構築を目指すものです。

公共機関が契約を結ぶ際に

- 一定の競争性を確保しつつ
- 価格に加えて環境性能を含めて評価し
- 高い環境性能を有する製品・サービスを供給する者を契約相手とする

**温室効果ガスの削減！  
持続可能な社会の実現！**

### 契約対象 (国や独立行政法人が行う次の契約)

- ① 電気の供給を受ける契約
- ② 自動車の購入及び賃貸借に係る契約
- ③ 船舶の調達に係る契約
- ④ ESCO事業(省エネルギー改修事業)に係る契約
- ⑤ 建築物の設計に係る契約
- ⑥ 産業廃棄物の処理に係る契約

### 産業廃棄物の処理に係る契約について

国の基本方針では、産業廃棄物の処理に係る入札資格として「温室効果ガス等の排出削減、適正な産業廃棄物処理の実施に関する能力や実績等を定めた上で裾切り方式によるものとする」とされています。「裾切り方式」とは、あらかじめ設定した入札参加基準を満たした事業者の中から、価格に基づき落札者を決定する方式です。具体的な事例を紹介します。

次ページへ続く

### 廃棄物の削減に役立つ

私たちは様々な資源を使って生活しています。食料、水、鉱物、エネルギー、森林、CO<sub>2</sub>吸収源など多様な資源が必要ですが、もし世界中の人が日本人と同じレベルの生活をするとしたら、地球何個分が必要になるでしょうか？ (答えは裏面をみてね。)

- ① 地球1.0個
- ② 地球2.3個
- ③ 地球4.0個

### contents

シリーズ

京都のリサイクルを担う人々  
京都の産業廃棄物  
中間処理業者を訪ねて

センター  
活動レポート

産業廃棄物3Rの  
技術開発・設備投資を応援します！



## 裾切り方式の例

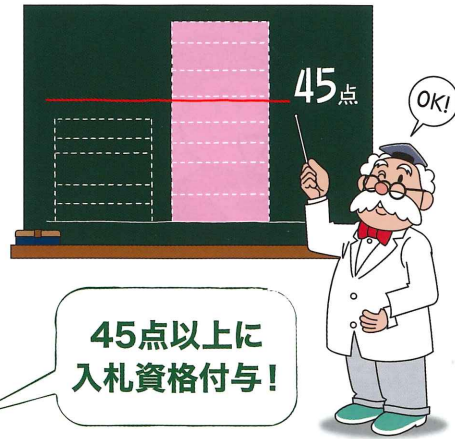
裾切り方式では、具体的な入札条件は処理する産業廃棄物の特性を踏まえ、調達者において設定します。下の例では、環境配慮への取組状況について3項目、優良認定への適合状況について5項目を評価項目として設定しています。この各評価項目についてポイント制で評価し、一定水準(下の例では6割の点数)以上を獲得した処理事業者に入札資格を付与します。

【表】裾切り方式における評価項目、配点の例

評価項目	区分(評価)例	配点例
①環境/CSR報告書	環境/CSR報告書の作成・公表を実施	10
②温室効果ガス等の排出削減計画・目標	削減計画策定・目標設定及び公表を実施	10
③全従業員への研修・教育	全従業員に対し定期的な研修・教育を実施	5
事業者共通の取組(小計)	—	25
①優良適性(遵法性)	特定不利益処分を5年間受けていないこと	10
②事業の透明性	インターネットによる情報公開の実施	10
③環境配慮の取組	環境マネジメントシステム認証取得	10
④電子マニフェスト	電子マニフェストシステムへの加入、利用可能	10
⑤財務体質の健全性	自己資本比率、経常利益等の財務基準満足	10
優良認定への適合状況(小計)	—	50
合計	—	75

各評価項目について  
ポイント制で評価

満点の6割以上の  
点数を獲得した  
処理事業者に入札資格を付与



産業廃棄物の処理契約に環境配慮の観点を導入する考え方は、今回、国の事業に義務付けられることになりましたが、一部の地方自治体でも導入の検討が進んでいますし、さらに民間へとその考え方が広がっていくことが考えられます。

### シリーズ 京都のリサイクルを担う人々

## 京都の産業廃棄物 中間処理業者を訪ねて

### 第2回目

## ワンストップサービスで 総合リサイクルを推進

### 安田産業グループ

多彩な企業群で総合的なリサイクルを推進する・・・安田産業グループはそう形容することができるでしょう。グループ企業として安田産業(株)、(株)大剛、京都有機質資源(株)、(有)バイオ三恵、(株)ランナーズ、(有)丸加清掃を擁し、京都市周辺を中心に7つのリサイクル工場群を配置し、排出事業者が必要とする様々なリサイクルに対応できる体制づくりを進めています。

今回はそんな安田産業グループを取材、グループの「統括管理本部」(京都市伏見区)地球管理室の安田義崇さんにお話を伺いました。

### 多様なリサイクル工場群で総合リサイクルを実現

▶安田産業グループの廃棄物処理の特長は、その総合性とリサイクルへの徹底した姿勢にあるといえるでしょう。グループ全体で実施しているリサイクルをリストアップすれば、

#### 1 「RPF固形燃料化」

廃プラ・紙くず・木くずを破碎、成型しRPF固形燃料を製造



廃プラ等から製造されるRPF固形燃料

【(株)大剛 八幡本社工場・長岡京工場】

#### 2 「廃木材再資源化」

廃木材の性状に応じ製紙用チップ(紙原料)、燃料用チップ(バイオマスボイラー用)を製造

#### 3 「空き缶再資源化」

空き缶を選別、解砕、加熱・造粒し缶原料となるアルミペレット、スチールペレットを製造

#### 4 「古紙トータルリサイクル」

古紙から再生紙の原料を製造し自社オリジナルのトイレトーパー等を製造

#### 5 「廃棄飲料処理システム」

缶、ビン、ペットボトル、紙パック等の容器と内容物を分離。各容器はグループ内でリサイクル、内容物は外部で再資源化(堆肥化)

#### 6 「有機肥料製造システム」

汚泥、動植物性残さ、鶏糞等を発酵処理し有機肥料を製造

右ページへ続く ▶



人間が消費している資源の量を生産できる土地や海洋の面積で評価する方法として「エコロジカル・フットプリント」という考え方があります。モノの生産から消費、CO<sub>2</sub>の発生と吸収も含めて必要とする面積を算出します。その計算によると、世界中の人が日本人と同じ生活をしたら地球2.3個分の面積が必要という結果が示されています(2008年)。地球の資源を食い潰さないよう、「地球1個分の暮らし」という観点が大切です。

## 7 「食品廃棄物リサイクルシステム」

厨芥・動植物性残さ・有機汚泥を“天ぷら方式”(油温減圧乾燥方式)により水分除去し飼料や肥料に再生 【京都有機質資源(株)】



安田産業グループの工場群の一つ「京都有機質資源(株)エコの森京都」(長岡京市)

## 8 「ペットボトル再商品化」

廃ペットボトルをペレット化し、カスタネット、S字フック等生活雑貨を製造 【(株)大剛 長岡京工場】

## 9 「家具製造」

古材を活用し家具を製造 【(株)大剛 八幡本社工場】

## 10 「レアメタルリサイクル」

携帯電話、パソコン等電子機器、廃電線等からレアメタル等を抽出【安田産業(株) 伏見工場・西院工場】

なんと10項目にも区分されるリサイクルを実現しています。

## 静脈産業をトップリードする5つのコンセプト

▶このような多様で総合的なリサイクルを展開していくため「たいせつを、まもる。」を基本理念とした安田産業グループの5つのコンセプトを紹介してくれました。

### ① トータル・リサイクルコンセプト(全てを資源リサイクル)

発生する廃棄物は多種多様で処理業者にも得手不得手があります。全ての廃棄物を一社で取り扱うことは難しいことですが、安田産業はグループ全体で完結できる方向を目指しています。例えばコンビニからは可燃物、飲料容器、段ボール、食品残さなど多様な廃棄物が出ますが、これをトータル・リサイクルする。「顧客満足度を考えれば、ワンストップでリサイクルのサービスを提案・提供できるのがベストです」安田さんはそう語ります。

### ② 低炭素社会への取り組み

地球環境問題である温室効果ガスの低減は、各企業においても関心が高いところです。安田産業グループでは処理やリサイクル、収集運搬によるCO<sub>2</sub>の削減量を数値化し提案しているとのこと。

### ③ ライフサイクル・アセスメント

環境負荷を考えれば必ずしもリサイクルが最善と言えない場合があります。例えば汚れた混合廃棄物は、リサイクルのためにエネルギーを消費して洗浄、選別、乾燥処理するより、発電のある施設で焼却しエネルギー回収した方が合理的な場合があります。企業での排出や保管も、分別方法や回収頻度を変えることにより環境負荷の少ない処理を実現できます。

\*ライフサイクル・アセスメントとは、原料の採取から製造、使用、廃棄に至るまでの製品の一生における環境負荷を定量的に把握・評価する手法です。

### ④ コスト意識の徹底

原価計算をしっかりと行い、処理方法に応じたコストを提案できるようにする、企業のみなさんに廃棄物処理とコストとの関係をしっかりと理解していただき、分別の徹底やリサイクル方法を選択してもらう…「これからは『適正処理』を超えて『適正排出』の時代だと思うんです」そう安田さんは語ります。

当たり前のことのように、**「一式いくら」のどんぶり勘定が続いた世界ではとても大切な取り組みですし、企業においても廃棄物とコストとの関係が明確になれば、削減や処理方法にも真剣になります。**

## ⑤ 優良事業者への取り組み

廃棄物処理法の「優良処理業者」認定取得(安田産業(株)、(株)大剛)、電子マニフェスト導入、ISO14001等の取得を通じ、「情報の公開・提供」「マネジメントシステムの構築」「コンプライアンス(法令の遵守)」を確保、廃棄物処理の透明化の取り組みを進めています。

## 排出事業者へ提案する「問題解決型企業」へ

企業が出すごみをそのまま受け入れるのは「いけない」、と安田さんは笑って言います。環境産業に携わるプライドと若い情熱がそう言わせるのでしょうか。100出る廃棄物であれば80に削減する方法を提案、そしてリサイクル率も高めていく、もちろんそれに合った適正な処理料金をいただく。

こういった企業への提案能力、廃棄物処理に係るコンサルタント的な役割を意識しているのも、安田産業グループの特長でしょう。企業は様々なニーズを持っています。多様な企業ニーズに応える提案力をさらに強めて行く必要があると言います。

## 市民とつながる「エコぼす」

「エコぼす」は家庭の古新聞・古雑誌を回収するリサイクルポスト。協力店舗に設置された「エコぼす」に持ち込めば当店のカードにポイントが付与される安田産業グループのシステムです。またコンゴを支援する活動「ケイタイ for コンゴ」にも参画(最近PCリサイクルも対象に追加)、不要携帯を回収しレアメタルを再利用するとともに支援金を寄付する活動にも取り組んでいます。

こうした活動が市民との接点ともなっているのでしょうか。安田産業グループのリサイクル工場は小学生の社会見学コースとなっているとともに、市民見学会、小学校への出張講座など市民参加型のプログラムも用意しているとのこと。

「市民に事業活動やリサイクルを理解してもらうために、今後も地域社会と密接な立ち位置にあるべき」と安田さんはおっしゃいます。5年前に誕生したリサイクルのシンボルキャラクター「リサちゃん」は、子供にも興味をもってもらいたいという思いから生まれました。

「皆さんに『リサちゃんマークの車が走っているということは、何か環境にいいことをしているんだな』と思っていただけるように頑張りたい」という安田さんの言葉をお聞きして、今回の取材を終えたのでした。(取材 平成25年5月)

### 安田産業グループ統括管理本部

〒612-8379 京都市伏見区南寝小屋町91

☎0120-53-1153

<http://www.yasuda-group.co.jp/>



リサちゃんを前に、安田義崇さん(左2人目)と従業員のみなさん

# 産業廃棄物3Rの技術開発・設備投資を応援します！

センターでは、京都府産業廃棄物税を用い、企業が行う産業廃棄物3R推進のための技術開発経費等を助成しています。

## 平成25年度 第1回採択事業が決定！

本年度の第1回公募では、応募のあった事業について5月21日に外部有識者で構成される審査会を開催し、以下4件について採択が決定しました。

事業者名	テーマ名
<b>研究開発</b> ミヤコテック(株) (共同研究者: 京都工芸繊維大学)	植物性廃棄物の“射出成形技術”開発と製品&装置の事業化
<b>研究開発</b> (株)京都庵 (共同研究者: 京都大学)	地場産食品製造副産物混合資材を用いた肉牛・乳牛用飼料の開発
<b>研究開発</b> 竹岡醤油(株) (共同研究者: (株)山田製油、京都学園大学)	ゴマ搾り粕を利用したゴマ醤油の開発
<b>施設整備</b> (株)京都環境保全公社	混合廃棄物の最終処分量削減を目的とした選別設備の整備

\*次回、第2回公募は7月19日〆切予定です！積極的な御応募をお待ちしています！

### 京都府産業廃棄物発生抑制等促進事業費補助事業の概要

事業名	1 産業廃棄物減量推進事業 (研究、技術開発等補助事業)		2 産業廃棄物再資源化施設整備促進事業 (リサイクル施設等整備補助事業)
	対象事業	産業廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用 その他適正な処理の促進に係る研究、技術開発 又は産業廃棄物を使った商品開発を行う事業	
事業の実施形態	事業者が大学等研究機関 と共同で行う事業	その他	事業者が単独で行う事業
補助率	補助対象経費の 2/3以内	補助対象経費の 1/2以内	補助対象経費の 1/4以内
助成額	1件当たり総額 50万円以上、1,000万円以内		
公募期間	<第2回> 7月19日(金)応募〆切		
問合せ先	一般社団法人京都府産業廃棄物3R支援センター 〒615-0801 京都府京都市右京区西京極豆田町2番地 京都工業会館内2階 URL▶ <a href="http://www.kyoto-3rbiz.org/">http://www.kyoto-3rbiz.org/</a> E-mail▶ <a href="mailto:info@kyoto-3rbiz.org">info@kyoto-3rbiz.org</a>		

詳しくは当センターまでお問合せ下さい。

### 3R支援センターの主な事業

ゼロエミッションアドバイザー派遣事業(無料)

リサイクル技術開発・施設整備補助事業

産業廃棄物3R情報等提供事業(無料)

3R人材育成等支援事業

### 事務局より

この5月、米ハワイで大気中のCO<sub>2</sub>濃度が初めて400ppmを超えたと記事にありました。産業革命以前は280ppmだったCO<sub>2</sub>が急増し、このまま上昇を続ければリミットと言われている450ppmを超え、猛暑やハリケーン、干ばつなどの異常気象が常態化していくといわれています。地球温暖化対策のためにも3Rの推進は重要です。

### 一般社団法人京都府産業廃棄物3R支援センター ニュースレター 「3Rのススム。」第3号



2013年6月発行(年4回発行)  
発行: 一般社団法人京都府産業廃棄物3R支援センター  
住所: 〒615-0801 京都市右京区西京極豆田町2番地  
京都工業会館内2階  
TEL: 075-322-0530 FAX: 075-322-0529  
E-mail: [info@kyoto-3rbiz.org](mailto:info@kyoto-3rbiz.org)  
URL: <http://www.kyoto-3rbiz.org/>

【構成団体】 京都商工会議所・京都府中小企業団体中央会・一般社団法人長田野工業センター・公益社団法人京都工業会  
公益社団法人京都府産業廃棄物協会・特定非営利活動法人KES環境機構・京都府・京都市

